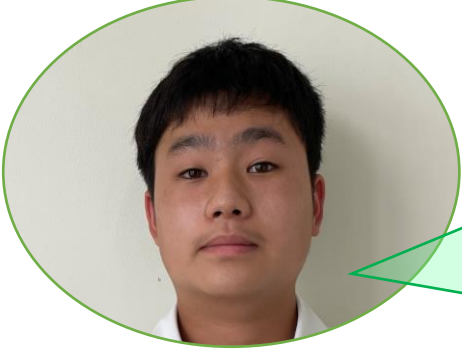




## 夏の大会に向けて、各部活動・クラブチームの決意表明 Part5

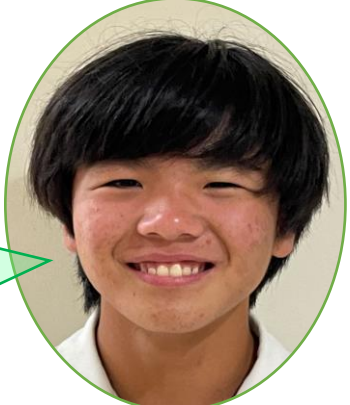
各部・クラブチームの決意表明の最終回になりました。このシリーズは昨秋にも特集しましたが、新人大会の時に比べ、一段と内容豊かで熱量の強さを感じています。また、各部・各クラブの代表者には、県立入試を意識して、国語の大問4と同じ200字以上240字以内で原稿作成をお願いしました。どの代表も、きれいな丁寧な字で、ほとんど原稿のまま修正することなく掲載することができたことも感心しています。

### 【水泳部 藤永 優輝さん】




こんにちは、水泳部部長藤永です。今年の水泳部の中体連の目標は、県大会出場です。そのために、部員が部員を支え合い、お互いの長所を高め合い、切磋琢磨を意識しながら普段の練習に臨んでいきます。さらに、礼儀や挨拶を大事にしていき、さまざまな場面で水泳部が河東中学校の部活を引っ張っていけるように頑張っていきます。そして、日々支えてくれている家族や指導してくださっているコーチのみなさんに感謝の気持ちを持って活動していきます。応援よろしくお願いします。

### 【LEON 福岡 恵濃 大我さん】



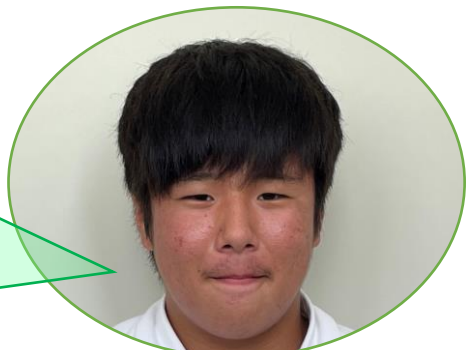
こんにちは、LEON 福岡です。僕たちは今、県の2部リーグに所属していて、そのリーグで6位以上勝ち点10を目標に、日々練習に励んでいます。チーム状況によって、スタメンに1年生が5人ほど出ていますが、1年生も勝ちにこだわりとても頑張ってくれています。けが人が多く、これからも厳しい戦いが続きますが、一人一人が日頃から質の高い練習を行うことで、リーグ6位以上を達成できるようになると考えています。まだリーグは5試合あるので最後まで諦めずに頑張っていきたいと思います。応援よろしくお願いします。

### 【フェンシング 松永 純大さん】



こんにちは、フェンシング部の松永です。僕は7月にある全国中学生大会でベスト10を目標に、日々、玄界高校の高校生の方々と練習を頑張っています。全国中学生大会でベスト10は難しいと思います。しかし、僕はいろいろな方々から支えてもらい今プレーさせてもらっています。このことにしっかりと感謝して、選手としても人としても成長して先輩や先生に恩返しをしたいです。そのためには、先輩にいただいたアドバイスや日々のトレーニングをもっと大切にします。みなさんに良い結果が報告できるよう頑張るので応援よろしくお願いします。

### 【玄海ジュニアラグビークラブ 末長 琥珀さん】



こんにちは、玄海ジュニアラグビークラブです。僕たちは、5月の中旬から試合に臨んでいます。1回戦は仲間力もあり勝つことができました。2回戦目で敗退となってしまいました。しかし、試合の勝ち負けにこだわらず、物事をプラスに考えることが大切だと学びました。チームメイトと離れ離れになるとはありますが、練習や合宿で築いた絆を忘れず頑張りますので、応援よろしくお願いします。



【 FAL-PRIDE 佐々木 柊斗さん】

こんにちは、FAL-PRIDEです。僕たちFAL-PRIDEは、11月から行われるクラブジュニアユースサッカートーナメント大会で、県ベスト16以上を目標にして一致団結して頑張っています。試合の本番では、試合に出る人も出ない人も、全員で一致団結して、昨年の県ベスト32を越えられるように、実力の100%を出せるように頑張っていきます。残りの練習でも、一生懸命頑張ります。応援よろしくお願いします。

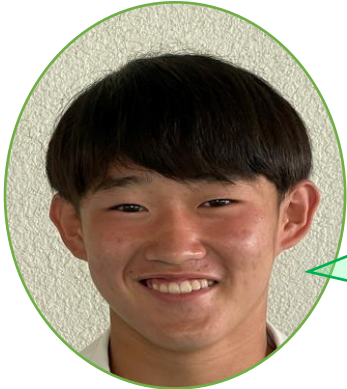
【 福岡レディースRFC 西端 渚さん】

福岡レディースラグビーフットボールクラブキャプテンの西端渚です。私達は昨年九州大会優勝まで進みましたが、コロナの影響で全国大会がなくなりとても悔しい思いをしました。その悔しい思いを力に変えて先輩達の方まで全国大会優勝を目標に、どんなに辛いメニューでも声をかけ合い頑張っています。私達のチームの明るさはどのチームにも負けません。この明るさを武器に、まずは県大会優勝・九州大会優勝し、良い雰囲気のまま全国大会優勝できるように頑張るので、応援よろしくお願いします。



【 宗像セントラル 押井 類さん】

宗像セントラルは、福岡県リーグ3部に所属しており、2部昇格を目指して、日々きつい練習を乗り越えています。今すでにリーグ戦は始まっており、2勝1敗1分であり良い結果ではないですが、チームでの総力を練習の中でアップさせ、残りの試合は全勝できるようにがんばります。引退まであと3か月程度なので、悔いを残さず中学校人生最後のサッカーをチームみんなで笑顔で終われると最高です。応援よろしくお願いします。



元日本代表監督・ザッケローニと元京都大学総長・平澤興先生が残した言葉

サッカーの日本代表は、今年の秋に行われるワールドカップカタール大会に向けて準備を進めています。今日紹介するのは、2014年ブラジル大会で代表監督を務めたアルベルト・ザッケローニが日本でのインタビュー時に残した言葉です。

「成功は必ずしも約束されていないが、成長は約束されている。

勝敗は他者との力関係や偶然に左右されるが、成長できるか否かは、どこまでも自分自身の決意と努力にかかっている。」

これから中体連や選手権・コンクールにのぞむ河東中生は、それぞれの舞台でまた一段と大きく成長してほしいと思っています。

日本では、一つの競技や芸術に集中する方法が奨励されてきました。ヨーロッパやアメリカでは、一人の子どもが複数の競技や芸術を同時期に行います。野球をやりながら水泳もするなど。これは、シナジー効果(複数のものがお互いに良い影響を与える)があると言われています。どちらが子どもの発達に良いのかということは、賛否両論あります。日本的な考え方を凝縮したのが、元京大総長の平澤先生が示された言葉ではないかと思います。

「あるひとつのことは通してもものの深さを知ることができれば、その目、その手足、その頭で万事を考えるようになる。そして、その真実に近づけるのである。」

それぞれの部・クラブで1~3年間にわたって一心に磨き深めてきたものを、それぞれのひのき舞台上で思い残すことなく力を発揮してくれることを願うばかりです。